

令和5年11月20日（月）

欲張りな犬（イソップ童話より）

肉をくわえた犬が、橋を渡っていました。

犬がふと下を見ると、川の中にも同じように、肉をくわえた犬がいるではありませんか。

犬はそれを見て、思いました。

「あいつの肉の方が、大きくでうまそうだ！」

犬は、悔しくて悔しくてたまりません。

「そうだ、あいつを脅かして、あの肉を奪いとってやろう！」

そこで犬は、川の中の犬に向かって思いっきり吠えました。

「ウー、ワン！ワン！！」

その途端、くわえていた肉は「ポチャン」と川の中に落ちてしまいました。

「あー、しまったー！！」

川の中には、がっかりしたイヌの顔が映っていました。さっきの川の中の犬は、川の水面に映った犬自身の顔だったのです。

同じものを持っていても、他の人が持っているもののほうが良く見え、また、欲張ると結局損をするというお話でした。

同じような意味をもつ「隣の芝生は青く見える」ということわざがあります。他人が持っているものは、自分のものよりよく見えるものであるという意味です。

「隣の芝生は青く見える」は、海外から来たことわざです。海外では、自宅の庭に芝生を敷き詰める習慣がある地域があります。自宅の芝を見る時は、上から見ることになる分、枯れた芝に気づきやすいです。一方、隣の家芝生を見る時は、横もしくは斜め上から見るため、角度がついて枯れた芝が見えにくく美しく見えます。そこで、実際には大きな差がないにもかかわらず、隣の芝生の方がより青々とした色合いに感じられるのです。

他人を羨ましがることばかりせず、自らがもっているものを大切にしましょう。